

情報科学を活用した地震調査研究プロジェクトの進捗状況

令和 3 年 8 月 1 8 日
地震調査研究推進本部政策委員会

令和元年度末から令和 2 年度にかけて開催した「新たな科学技術を活用した地震調査研究に関する専門委員会」（主査：北川源四郎 東京大学特任教授）において、近年の情報科学等の新たな科学技術を活用した国内外の地震調査研究の動向を踏まえ「新たな科学技術を活用した地震調査研究～データサイエンスを中心として～(中間とりまとめ)」を取りまとめたところである。

このように、昨今の情報科学の著しい研究の進展、及びその知見の地震学への活用により地震学分野の更なる発展が期待できることから、新たに「情報科学を活用した地震調査研究プロジェクト（以下、「STAR-E プロジェクト」※とする。）」として研究課題を募集し、今般下記の 5 つの課題を採択し、委託研究を開始したところである。

採択課題名	研究実施機関（代表）
人工知能と自然知能の対話・協働による地震研究の新展開	国立大学法人東京大学地震研究所
信号処理と機械学習を活用した地震波形ビッグデータ解析による地下断層の探索	国立研究開発法人産業技術総合研究所
データ同化断層すべりモニタリングに向けた測地データ解析の革新	国立大学法人東北大学理学研究科
地震データの不完全性に対応した地震活動およびそれに伴う揺れの準リアルタイム時空間予測に関する研究開発	国立研究開発法人防災科学技術研究所
長期から即時までの時空間予測とモニタリングの新展開	大学共同利用機関法人統計数理研究所

STAR-E プロジェクトは、今後プロジェクト運営委員会において全体の統括及び研究の進捗管理を行う他、研究フォーラムの開催や SNS 等を活用したプロジェクトポータル立ち上げを予定しており、採択課題に限らず、研究者がより良い環境で研究活動に取り組めるようプロジェクトを進めていく。

※STAR-E (Seismology TowArd Research innovation with data of Earthquake) プロジェクト